

区自立支援協議会の特徴的な取組み・成果及び今後の計画（令和 5 年 10 月）

区	特徴的な取組み・成果	今後の計画
北	<p>■地域課題の検討</p> <p>▷区協議会委員の所属機関が抱える困りごと等を整理し、取り組むべき地域課題(医療的ケアが必要な方・ひきこもり等何かしら支援が必要な方)を抽出し、検討を行った。</p>	<p>■地域課題の検討</p> <p>▷医療的ケア児者を積極的に受入れている共生型事業所への聞き取りや看護師配置のある高齢施設での受入れを促進するための働きかけを予定。</p> <p>▷ひきこもりの背景への理解を深めたり、関係者の支援の意識の醸成や窓口の確認を行う。</p>
東	<p>■地域との連携強化</p> <p>▷R4年度相談支援事業所連絡会で抽出された地域課題の中から「チームアプローチ」を取り上げ、関係機関の役割と機能についての確認を行い、その手法等の検討を行った。</p> <p>▷地域包括支援センター主催の地域ケア会議に参加し、8050 問題(擁護者による高齢者虐待)について協議し、世帯支援を行った。</p> <p>▷社会福祉協議会主催、esport studio Legends 協力のもと、「e スポーツ」で特別支援学校と自治体の交流促進を図った。</p> <p>▷社会福祉協議会主催の「桃山プロジェクト」に参加し、桃山地区の世帯調査に協力した。</p>	<p>■地域との連携強化</p> <p>▷チームアプローチのコツについて意見交換し、個人→事業所→身近なチーム→東区(地域)とつながっていくよう、自身、事業所としてできることを PDCA サイクルにして確認していく。</p> <p>▷引き続き地域住民や関係機関の障がい理解を深める取組みを検討する。また、地域ケア会議や地域包括支援センターに関する研修に参加する。</p>

北・東 (合同)	<p>■療育班</p> <p>▷保育園の発達支援コーディネーター研修と協働し、障がい児通所支援事業所見学会を実施。</p> <p>▷北区で放課後等デイサービスが不足していることから、相談支援事業所と放課後等デイサービスに実態調査のためのアンケートを実施。</p> <p>▷学校と福祉の連携強化に向けた研修会の開催準備を行う。</p> <p>■行動障がいを考える班</p> <p>▷強度行動障がいの方への支援を行う入所施設、生活介護、グループホームの見学を行い、必要な環境や実際の支援について理解を深めた。</p> <p>■計画相談を考える班</p> <p>▷北区・東区の相談支援専門員や事業所を支える仕組みとして、新人研修「楽(たの)ぼう会」を開催中(全4回)。相談支援専門員に必要なスキル、サービス等利用計画作成までの二ーズ整理やセルフケア等、他事業所の相談支援専門員の経験を活かした学びの場を提供。</p> <p>■R4年度の地域課題からの取組み</p> <p>▷インフォーマルサービス(社会福祉協議会と地域の社会資源について)研修会を実施(7/13)。</p> <p>▷グループホーム連絡会にて、関係者の顔合わせや指定基準、業務内容の確認を行った(7/5)。</p>	<p>■療育班</p> <p>▷研修との協働を継続し、見学会を実施する。見学済の方を対象に現場実習も検討。</p> <p>▷アンケート結果を踏まえ、北区での事業所開設を既存の事業所に働きかける。</p> <p>▷学校と福祉の連携強化を目的として、新潟市立東特別支援学校を対象に研修会を実施予定。</p> <p>■行動障がいを考える班</p> <p>▷行動障がいがある方への具体的な支援方法を共有できる仕組みを検討する。</p> <p>▷生活介護事業所連絡会での協議・検討を継続。</p> <p>■計画相談を考える班</p> <p>▷来年度に向けてより良い体制とするために、2月に振り返りを行う。</p> <p>■R4年度の地域課題からの取組み</p> <p>▷グループホーム連絡会は不定期開催。</p>
-------------	--	---

<p>中央</p>	<p>■相談支援事業所連絡会の開催 ▷協議会の認知度向上と支援者間の顔の見える関係づくりを目的に、PR部と共催という形で多職種拡大ケース会議を開催。「生活保護」をテーマとした講義とグループワークを実施。</p> <p>■こども連絡会の開催 ▷サポート校、通信制高校の現状を情報収集。 ▷市小学校教育研究会にて、「福祉と学校の連携について」の説明を行った(9/6)。 ▷トライアングル連携シートの活用状況についてアンケートを実施。</p> <p>■障がい者の高齢期を考えるWGの開催 ▷今年度の活動内容と目標について検討。</p> <p>■PR部 ▷相談事業所連絡会と連携し、多職種拡大ケース会議を開催。</p>	<p>■相談支援事業所連絡会の開催 ▷事例検討会、研修会を実施し、相談支援専門員の質の向上を図る。</p> <p>■こども連絡会の開催 ▷サポート校、通信制高校の課題等を共有する場を設け、顔の見える関係の構築を図る。</p> <p>■障がい者の高齢期を考えるWGの開催 ▷サービス管理責任者を対象とした、通所介護(デイサービス)見学会、制度説明会を予定。</p> <p>■PR部 ▷引き続き、協議会の認知度向上、支援者間の顔の見える関係づくりに関する取り組みを行う。</p>
<p>江南</p>	<p>■地域生活支援拠点等整備に向けた取り組み ▷「体験の場・機会」機能として、「はたらく」をテーマに、江南区就労支援事業所のネットワーク化に取り組んでいる。ワーキンググループを設置し、情報発信・共有の仕組みについて検討中。ホームページの構成や内容について意見交換を行った。</p> <p>■児童支援部会の取り組み ▷江南区障がい児支援セミナーの開催 テーマ：日頃からの連携を進めるために 参加者：小・中学校管理職、担当教諭、放デイ、相談支援事業所等 計47名 成果：相互理解が深まり、課題の共有、連携のきっかけづくりの場となった。</p> <p>■ケース会議の開催 ▷IP法によるケース検討や相談支援専門員の意見交換会等を実施。</p>	<p>■地域生活支援拠点等整備 ▷地域生活支援拠点等整備を重点事業として今後も取り組む。後期もワーキンググループでホームページの試作や意見交換を重ねる。区協議会で経過を報告し、委員の意見を伺う予定。</p> <p>■児童支援部会 ▷セミナーのアンケート結果を参考に総括を行い、課題を整理する。来年度以降も定期的を開催するため、今年度中に準備を進める。 ▷各専門領域から見える児童の課題について、児童支援部会以外の委員と意見交換する機会を設け、今後の活動に生かす予定。</p> <p>■ケース会議の開催 ▷今後も継続して開催し、地域課題の抽出や相談支援専門員の資質向上、業務の効率化を図る。</p>

<p style="text-align: center;">秋 葉</p>	<p>■障がい児支援 ▷「障がい児つながる支援セミナー」を開催し、教育と福祉の連携に向けた意見交換等を実施。 参加者：学校・福祉関係者等 58名</p> <p>■地域の移動(通学)について ▷区社会福祉協議会から地域での移動支援、見守り体制について情報提供があった。また、地域資源一覧表、好事例集の作成について検討中。</p> <p>■地域くらし ▷「地域生活支援拠点等事業」より名称変更。 ▷望むくらしに向けた住まい・日常生活の体験や社会参加の機会に関するイメージ図の検討</p> <p>■区相談連絡会の開催 ▷事例検討のほか、高齢福祉・障がい福祉連携チーム会議を開催。</p> <p>■医療的ケア児者の家族支援 ▷医療的ケアが必要な障がい児者の家族が情報交換等を行う「集いの場」を開催。</p>	<p>■障がい児支援 ▷つながる支援ファイルの配布及び活用方法の周知を継続する。 ▷セミナーの振り返りと来年度開催内容の検討。</p> <p>■地域の移動(通学)について ▷地域資源一覧表、好事例集の作成・構成、取り扱い等について検討。</p> <p>■区相談連絡会の開催 ▷概ね月1回のペースで、事例検討を継続する。</p>
<p style="text-align: center;">南</p>	<p>■児童ワーキンググループ会議 ▷関係機関合同研修会 テーマ：「家庭と教育と福祉の連携」 参加者：学校、放課後児童クラブ、放デイ、福祉関連事業所等から71名が参加</p> <p>■拠点等ワーキンググループ会議 ▷拠点(喫茶等)の視察、意見交換 ▷既存の地域資源のまとめ</p> <p>■南区ケース会議 ▷IP法(計画相談支援事業所・基幹・区等) ・緊急時の対応について ・一般就労を目指す困難ケース</p> <p>▷研修会(関連事業所 20名) ・療育の手法を活用した支援についての講義、グループワーク</p>	<p>■児童ワーキンググループ会議 ▷次年度の研修会の内容検討</p> <p>■拠点等ワーキンググループ会議 ▷地域資源を発信していく手法等</p> <p>■南区ケース会議 ▷勉強会 ・強度行動障がい児者の支援について ・認知症について</p> <p>▷IP法</p>

西	<p>■西区ケース会議の開催</p> <p>▷区協議会委員や相談支援専門員で、課題のあるケースについて検討を行った。</p> <p>■相談支援事業所会議の開催</p> <p>▷相談支援事業所と保健師による合同防災研修会を実施。災害時の体制の検討や課題を整理。</p> <p>▷相談支援専門員の困りごとや相談したいことについて、意見交換や情報共有を行った。</p> <p>■広報会議</p> <p>▷広報紙(サネットルゾニュース)第4号が完成。区協議会委員と区内事業所へ配布。</p>	<p>■地域課題の解決に向けた、各専門会議を引き続き開催する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・途切れない支援連絡会 ・グループホーム連絡会 ・身寄りなし連絡会 ・広報会議 ・西区ケース会議 ・相談支援事業所会議 ・ひきこもりびとミーティングへの参画
西蒲	<p>■相談支援事業所会議</p> <p>▷IP法による事例検討やグループスーパービジョンを実施した。</p> <p>■相談支援事業所巡回</p> <p>▷巡回訪問し、情報共有と意見交換を実施。</p> <p>■療育支援会議</p> <p>▷がくふく連携会議を開催し、卒業生の進路調整について情報共有を行った。</p> <p>■地域生活拠点会議</p> <p>▷「西蒲区で末永くステキに暮らせるためのクライシスプラン(困りごとの早期発見のために)」をテーマとして意見交換を行った。</p> <p>■広報部会</p> <p>▷広報紙(ルバ`ストIIII-ニュース)第3、4、5号を発行。</p> <p>▷西蒲区障がい理解啓発セミナーを開催し、知的障がいについて理解を深めた。</p>	<p>■相談支援事業所会議</p> <p>▷開催を継続し、相談支援事業所のスキルアップを図る。</p> <p>■相談支援事業所巡回</p> <p>▷相談支援事業所の巡回訪問を継続する。</p> <p>■療育支援会議</p> <p>▷こども支援会議の開催。</p> <p>▷がくふく連携会議の開催。</p> <p>■地域生活拠点会議</p> <p>▷地域の課題を共有し、解決に向けての取り組みを検討する。</p> <p>■広報部会</p> <p>▷広報紙第6号を発行予定。</p>

<p>西・西蒲 (合同)</p>	<p>■グループホーム連絡会 ▷グループホームの運営及び指定基準についての研修や困りごとなどの情報共有を行った。</p> <p>■身寄りなし連絡会 ▷身寄りがいない方や、親戚が遠方にいたり、絶縁関係にある方等の生活をサポートするための西区版ガイドブック作成に向けて協議中。</p> <p>■途切れない支援連絡会 ▷昨年度作成した「窓口ガイドブック」について、その内容の精査や活用方法を検討中。</p>	<p>■西区・西蒲区グループホーム連絡会 ▷年2回の連絡会議を継続。</p> <p>■身寄りなし連絡会 ▷ガイドブック作成に向け、福祉関係事業所等へアンケートを実施予定。</p> <p>■途切れない支援連絡会 ▷療育支援関係機関で現状や課題の共有を行う。</p>
----------------------	--	---